

## 施設概要

### 設置場所

大阪急性期・総合医療センター敷地内（大阪市住吉区）

### 病床数

重症病床30床（すべての病床に人工呼吸器を配備。ECMOは配備せず）

※2期（残りの病床）については、工期、人的確保等の観点から検討中

### 構造等

プレハブ平屋建て（約45m×約18m）

※CT棟、スタッフ棟等も併設

### 整備期間

R2年8月中旬～R2年11月

（12月15日に運用開始を前倒し）

### 設置期間

2年（感染拡大の状況により判断）

## 運営方法

### 運営時期

臨時医療施設として緊急事態宣言時の運営を想定していたが、医療法の特例として運営。

### 運営体制

府内医療機関、関係機関等との連携のもと、運営体制に万全を期す

#### ■30床運用時の配置イメージ

職種	昼間	夜間	必要人数
医師	5人程度 (固定)	3人程度 (輪番制)	25人程度
看護師	50人程度	25人程度	130人程度

その他の医療従事者（薬剤師、放射線技師、理学療法士、臨床工学技士、臨床検査技師）については確保済

#### ■医療従事者確保の状況

- 医師：三次救急医療機関からの応援を予定
- 看護師：約50名は確保済。府内医療機関及び全国知事会、日本赤十字社、日本看護協会等に派遣要請中
- 派遣元医療機関等と派遣者に対する支援制度を構築済